

薬物乱用防止講演 1回の好奇心 人生台無しに 西舞鶴高、学校薬剤師呼びかけ / 京都

会員限定有料記事 毎日新聞 2020年12月12日 地方版



薬物乱用の恐ろしさを語る木戸勝之さん＝舞鶴市の府立西舞鶴高で2020年12月11日午後3時15分、塩田敏夫撮影

舞鶴市の府立西舞鶴高で11日、学校薬剤師の木戸勝之さん（53）が「薬物乱用防止について～後悔しないために」と題して講演した。危険な薬物がファッションのように若い人に広がっている現状を語り、「単なる好奇心からたった1回でも手を出したら薬物乱用になる。決して他人事ではない。依存症になると自分一人の力ではやめられなくなる。人生が台無しになる」と薬物の恐ろしさを訴えた。【塩田敏夫】

まず、京都市内の中学生が大麻を所持したとして2019年に逮捕されるなど、ドラッグ汚染の低年齢化が想像以上に進んでいる現状を紹介した。覚醒剤、アヘン、シンナーなど薬物乱用は多種に及ぶが、大麻事犯が14年以降に右肩上がりで増加していると指摘した。

この記事は有料記事です。

残り394文字（全文705文字）